

**平成21年度概算要求における科学技術関係施策
の重点化の推進について**

《情報通信分野のみ抜粋》

平成20年10月31日
科学技術政策担当大臣
総合科学技術会議有識者議員

目次

○関係府省の科学技術関係施策についての総括的見解	5
○最重要政策課題等の施策一覧	11
①革新的技術	11
②環境エネルギー技術	19
③科学技術外交	31
④科学技術による地域活性化	35
⑤社会還元加速プロジェクト	37
⑥その他の府省・分野横断的な取組(健康研究、人材育成、競争的資金)	59
○詳細な見解付けの結果	75
①科学研究費補助金、大学等	75
②国家基幹技術	82
○科学技術関係施策の優先度判定等の考え方	97
○優先度判定(SABC)及び改善・見直し指摘の結果	101
①政策課題対応型研究開発(8分野)	
ライフサイエンス	101
情報通信	124
環境	151
エネルギー	158
ナノテクノロジー・材料	170
ものづくり技術	180
社会基盤	183
フロンティア	193
②その他重点課題	
大学・基礎研究・競争的資金	197
知的財産、地域、産学官連携	200
人材育成・理解増進	210
科学技術外交	214
○優先度判定等に助言頂いた外部専門家	221

- ※1 「戦略重点」欄には、戦略重点科学技術に該当する施策には「○」、施策の一部が該当する場合には「一部○」を記載している
- ※2 「最重要政策課題」欄には、最重要政策課題に登録された施策について、革新的技術は「革」、環境エネルギー技術は「環」、科学技術外交は「外」、科学技術による地域活性化は「地」と記載、社会還元加速プロジェクトは「社」と記載している。
- ※3 「所管」欄には、独立行政法人、大学共同利用機関法人の運営費交付金等による事業の場合、当該法人の略称を記載している
(法人の略称一覧)

OIST	独立行政法人沖縄科学技術研究基盤整備機構
NICT	独立行政法人情報通信研究機構
JICA	独立行政法人国際協力機構
NIMS	独立行政法人物質・材料研究機構
理研	独立行政法人理化学研究所
放医研	独立行政法人放射線医学総合研究所
JAXA	独立行政法人宇宙航空研究開発機構
JAMSTEC	独立行政法人海洋研究開発機構
JAEA	独立行政法人日本原子力研究開発機構
JST	独立行政法人科学技術振興機構
JSPS	独立行政法人日本学術振興会
NIED	独立行政法人防災科学技術研究所
NINS	大学共同利用機関法人自然科学研究機構
KEK	大学共同利用機関法人高エネルギー加速器研究機構
NIBIO	独立行政法人医薬基盤研究所
NARO	独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構
NEDO	独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構
IPA	独立行政法人情報処理推進機構
JOGMEC	独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構
ENRI	独立行政法人電子航法研究所
MRI	独立行政法人気象研究所
PWRI	独立行政法人土木研究所
NIES	独立行政法人国立環境研究所

- ※4 金額は、科学技術関係予算分を計上しており、単位は[百万円]

○最重要政策課題等の施策一覧

革新的技術関係施策の概要

「革新的技術」とは、他国の追随を許さない世界トップレベルの技術で、持続的な経済成長と豊かな社会の実現を可能とするものであり、「革新的技術戦略」(平成20年5月19日総合科学技術会議決定)において、「産業の国際競争力強化」、「健康な社会構築」、「日本と世界の安全保障」の観点から、これまで「革新的技術」が選定されている。

「資源配分方針」においては、「革新的技術」は最重要政策課題の1つとして重点化することとされている。以下、平成21年度概算要求に盛り込まれた「革新的技術」関連施策をまとめた。

○革新的技術(23技術)

(単位:百万円)

	施策名	所管	概算 要求額	平成20年度 予算額	施策の概要
オール光通信処理技術	フォトニックネットワーク技術に関する研究開発	総務省	4,037	3,637	急速に進展するブロードバンド環境や映像等のコンテンツ利用の拡大に対応したネットワークの大容量化・高機能化を「光」技術研究開発として産学官を結集して進める。2010年までにペタビット級ネットワーク構成技術の確立、2015年までにオール光ネットワーク構成技術の確立を目指すとともに、国際標準化も見据え戦略的に推進する。
	次世代高効率ネットワークデバイス技術開発	経済産業省	1,043	1,043	ネットワークで伝送されるデータ量の爆発的増加に伴い、関連機器の消費エネルギーが増大している中で、ネットワーク全体の消費電力量の抑制という喫緊の課題に対応するため、消費エネルギーの低減に大きく貢献するルータ・スイッチの高速化のための研究開発を実施する。また、機器そのものの消費エネルギーを低減するための、光技術、超電導技術等の研究開発を実施する。
	小計		5,080	4,680	
スピントロニクス技術	高機能・超低消費電力コンピューティングのためのデバイス・システム基盤技術の研究開発	文部科学省	850	425	革新的な高機能・低消費電力デバイスにより、高機能コンピューティングを実現させる技術基盤を確立するため、ブレークスルーが必要な①次世代高機能・低消費電力スピンドバイス基盤技術、②超高速大容量ストレージシステムについて一体的に研究開発を実施する。
	スピントロニクス不揮発性機能技術プロジェクト	経済産業省	585	520	将来のエレクトロニクスにとっての中核的な基盤技術としてのスピントロニクス技術(電子の電荷ではなく、電子の自転=「スピン」を利用するまったく新しいエレクトロニクス技術)を確立するため、強磁性体ナノ構造体におけるスピンの制御・利用基盤技術を開発し、我が国が世界に誇るシーズ技術を核として、産学官の共同研究体制を構築し、将来の中核的エレクトロニクス技術における我が国の優位性の確保を図る。
	小計		1,435	945	
3次元半導体技術	ドリームチップ開発プロジェクト	経済産業省	1,300	1,200	情報の量が爆発的に増大する社会のニーズに対応すべく、半導体集積回路(チップ)の多機能化・超小型化・超低消費電力化等を図るため、以下の立体構造の新機能半導体デバイス(ドリーム・チップ)を開発する。
	小計		1,300	1,200	
カーボンナノチューブ技術 (キャパシタ開発)	カーボンナノチューブキャパシタ開発プロジェクト	経済産業省	400	400	高密度・高純度・高配向性のカーボンナノチューブは、比表面積あたりの電気容量が活性炭より大きく、高エネルギー密度の電極材料となる可能性を有していることから、これらの特性を利用し、キャパシタの需要に求められる高出力、高エネルギー密度、長寿命の電気二重層キャパシタを開発する。
	小計		400	400	

MEMS集積化技術(マイクロ・エレクトロ・メカニカル・システム)	異分野融合型次世代デバイス製造技術プロジェクト	経済産業省	1,150	1,150	従来から蓄積したMEMS製造技術やナノ・バイオ等の異分野技術の手法を融合させ、基盤技術の構築を図る。
	小計		1,150	1,150	
3次元映像技術	革新的な三次元映像技術による超臨場感コミュニケーション技術の研究開発	総務省	1,227	738	真にリアルで、人間に優しく、心を豊かにするコミュニケーションを可能にする3次元映像技術を、立体音響技術、五感情報伝達技術等の超臨場感コミュニケーション技術と一体的に研究開発を行う。
	デジタル・ミュージアムの実現に向けた研究開発の推進	文部科学省	606	-	五感に訴えるよりリアルなコンテンツを3次元空間中に時系列で構築し、更に、鑑賞者の状況をリアルタイムにセンシングして鑑賞者の反応にその場で応答するようなシステムを構築するための研究開発を実施する。このシステムの構築を通し、個別技術を統合してより高度な体験を提供するような、複合情報処理技術を創出する。
	小計		1,833	738	
高信頼・生産性ソフトウェア開発技術	産学連携ソフトウェア工学の実践 ①実践事業 ②実践拠点	経済産業省	2,490	2,420	ソフトウェアの不具合に関連したトラブルに対応するために、エンタープライズ系及び組込み系分野におけるソフトウェアの「信頼性」及び「生産性」を可視化すると共にそれらを向上させるツールや手法の開発、普及、啓発及び実証をする。そして、信頼性を高めるソフトウェア開発手法を実際の組込みソフトウェア開発に適用し評価を行う。また、IPA・ソフトウェアエンジニアリングセンター(SEC)において産学官連携による体制の整備を行う。
	小計		2,490	2,420	
高効率な太陽光発電技術	低コスト次世代太陽電池の高効率化基礎研究	文部科学省	350	-	色素増感太陽電池はシリコン系太陽電池に比べ、エネルギー変換効率がまだ低いことから、火力発電のコスト(7円/kWh)の実現につなげ、クリーンエネルギーである太陽電池の本格的な普及の要望に応えるため、色素増感太陽電池内部のエネルギーロスを大幅に低減するための基礎理論を構築する。2010年度の新エネルギー導入目標達成に向け、エネルギー転換分野における従来技術の高度化を推進するとともに、2010年度以降の中長期的観点に立ち、非シリコン系太陽電池の開発・普及、シリコンの皮膜化による薄型太陽電池の開発など総合的な新エネルギー次世代技術の開発を積極的に支援する。新技術を活用した太陽光発電及び太陽熱利用システムを産業・公共施設に導入し、システムの有効性を検証する。
	新エネルギー技術研究開発の一部(太陽光)	経済産業省	6,572の内数	4,900の内数	
	新エネルギー技術フィールドテスト事業の一部(太陽光)	経済産業省	7,188の内数	6,688の内数	
	小計		350	0	
水素エネルギーシステム技術	革新的水素製造技術開発	文部科学省	1,500	50	原子力等が主役の高圧熱を用いて、高温水素ガスを排出せずに、経済的、大量かつ安定に製造することができる革新的水素製造技術を確立することにより、地球温暖化対策とエネルギー安定供給を両立しつつ、新たな環境エネルギー産業の創生を図る。国内外の研究機関の連携の下、高圧水素貯蔵に比べよりコンパクトかつ効率的な水素貯蔵を可能とする水素貯蔵材料の性能向上に必要な条件等を明らかにすることにより、燃料電池自動車の航続距離の飛躍的向上を図る。水素の輸送や貯蔵に必須な材料に関し、水素脆化等の基本原理の解明及び対策の検討を中心とした高度な科学的知見を要する先端的研究を、国内外の研究者を結集し行うことにより、水素をより安全・簡便に利用するための技術基盤を確立する。水素製造・貯蔵・輸送・充填に関する機器やシステムの信頼性・耐久性向上、低コスト化、性能向上等実用化検証や要素技術開発、及び当該技術を飛躍的に進展させることができる革新的技術開発や調査研究などを行い、その成果を産業界に提供することにより、水素エネルギー初期導入間近の関連機器製造・普及技術として完成させ、水素社会の真の実現に必要な基盤技術の確立を目指す。
	水素貯蔵材料先端基盤研究事業	経済産業省	1,400	908	
	水素先端科学基礎研究事業	経済産業省	2,200	1,750	
	水素製造・輸送・貯蔵システム等技術開発	経済産業省	2,500	1,700	
	小計		7,600	4,408	

生活支援ロボット技術	高齢者・障害者のためのユビキタスネットワークロボット技術の研究開発	総務省	1,000		高齢者・障害者のための生活支援及び社会参加の拡大のためのサービスを実現するため、(1)複数ロボット協調・連携のためのロボット管理・制御技術、(2)認識情報のWeb連携管理・分析技術及び分析結果に基づくインタラクティブ行動シナリオ構成技術、(3)ロボットサービス連携システム構築技術の研究開発及び実証実験を行う。
	生活支援ロボット実用化プロジェクト	経済産業省	2,000		本事業では生活支援ロボットに必要とされる対人安全技術をユーザや制度官庁と一緒に開発する。また、事業化のボトルネックとなっている安全の基準やルールを整備するため、関係者が協力して実証試験を実施し、安全性や有効性に関するデータの集約・分析する。
	次世代ロボット知能化技術開発プロジェクト	経済産業省	1,500	1,500	ロボット事業者が、状況が変化する過酷な環境下でも確実にロボットが稼働するためのソフトウェアを開発・利用できるよう、機能ごとの各種ソフトウェア・モジュールとなる「知能化モジュール」を整備する。
	小計		4,500	1,500	
高齢者・障害者自立支援技術(ブレイン・マシン・インターフェース)	脳活動計測の統合的活用による情報通信技術の研究開発	総務省	259	261	各種計測手法(磁場、光、電場等)を組み合わせて脳活動をオンラインに同時測定し、高度の統計処理などで統合を行うことで、従来よりも高い空間分解能と多くの情報量による脳内情報計測を実現する。
	脳科学研究戦略推進プログラム	文部科学省	2,700	1,700	高齢化、多様化、複雑化が進む現代社会が直面する様々な課題の克服に向けて、脳科学に対する社会からの期待が高まっている状況を踏まえ、「社会に貢献する脳科学」の実現を目指し、社会への応用を明確に見据えた脳科学研究を戦略的に推進する。
	脳科学総合研究事業	文部科学省	4,604	4,169	我が国の脳科学を総合的に牽引する中核的研究機関として役割を果たすとともに、分子から神経回路を経て心に至る脳の仕組みを解読するといった科学の飛躍的進歩をもたらす研究を推進する。
	小計		7,563	6,130	
低侵襲医療機器技術(触覚センサー内蔵型内視鏡)	先端的基盤開発研究(医療機器開発推進研究(ナノメディシン研究))	厚生労働省	1,898	1,937	ナノテクノロジーにおける超微細技術の医学への応用による非侵襲・低侵襲を目標とした医療機器等の研究・開発を推進し、患者にとって、より安全・安心な医療技術提供の実現を図る。
	先端的基盤開発研究(再生医療実用化研究及び医療機器開発推進研究(ナノメディシン研究を除く))の一部	厚生労働省	3,162の内数	291	内視鏡手術などのロボット支援装置、小型埋め込み型の補助心臓装置及び低電圧・低ショック植え込み型除細動器(ICD)をはじめ、高次脳機能や微小血管等従来の診断法では測定し得なかった対象の診断装置の開発を行う。
	臨床応用基盤研究(医療技術実用化総合研究)の一部	厚生労働省	8,056の内数	3,500	医薬品・医療機器の開発に関連する医療機関等の体制整備及び治験・臨床研究等の研究の推進を行う。
	インテリジェント手術機器研究開発プロジェクト	経済産業省	800	600	患者QOLの向上や、医療従事者の負担軽減等を目的として、がん細胞等の位置情報や取り残し情報を表示させるための固有腫瘍マーカーの生成・注入技術、術中の複数の生体情報を迅速に統合・解析して術前情報との重畳を行うことができる広視野・広視域三次元立体表示技術、触覚を再現するマニピレーターなどの超精密駆動機構等の研究開発を行い、手術中ががん細胞の位置や動きを正確に診断しながら、最小限の切除で治療を行うことができる先進医療機器の開発を行う。
	小計		2,698	6,328	

心機能人工補助装置技術	先端的基盤開発研究(再生医療実用化研究及び医療機器開発推進研究(ナノメディシン研究を除く))の一部	厚生労働省	(再掲) 3,162の内数	(再掲) 291	内視鏡手術などのロボット支援装置、小型埋め込み型の補助心臓装置及び低電圧・低ショック植え込み型除細動器(ICD)をはじめ、高次脳機能や微小血管等従来の診断法では測定し得なかった対象の診断装置の開発を行う。
	臨床応用基盤研究(医療技術実用化総合研究)の一部	厚生労働省	(再掲) 8,056の内数	(再掲) 3,500	
	小計			0	3,791
iPS細胞再生医療技術	再生医療の実現化プロジェクトの一部	文部科学省	3,650の内数	2,000の内数	細胞移植・細胞治療等によってこれまでの医療を根本的に変革する可能性を有する再生医療について、iPS細胞等を用いた革新的な幹細胞操作技術等を世界に先駆け確立し、その実用化を目指す。
	発生・再生科学総合研究事業	文部科学省	1,568	1,420	生命の発生メカニズムの基礎的原理を追究するとともに、器官の構築原理の解明、幹細胞の医学応用を目指した研究開発を実施する。
	バイオリソース事業	文部科学省	794	459	バイオリソースの収集・品質管理・保存・提供を行っている。なかでも世界初のiPS細胞提供機関として、国内外の研究機関への分配事業を行っており、マウスiPS細胞は平成20年3月末からの分配開始以来、150件を上回る提供を行っている。
	先端的基盤開発研究(再生医療実用化研究及び医療機器開発推進研究(ナノメディシン研究を除く))の一部	厚生労働省	(再掲) 3,162の内数	(再掲) 291	内視鏡手術などのロボット支援装置、小型埋め込み型の補助心臓装置及び低電圧・低ショック植え込み型除細動器(ICD)をはじめ、高次脳機能や微小血管等従来の診断法では測定し得なかった対象の診断装置の開発を行う。
	幹細胞応用促進技術開発	経済産業省	1,000	-	iPS細胞を含めた各種幹細胞の産業応用を促進するため、安全かつ効率的なiPS細胞作製のための基盤技術の開発、細胞の選別・評価技術の開発、ES、iPS細胞を用いた創薬スクリーニング系の開発を行う。
小計			3,362	2,170	
iPS細胞活用毒性評価技術	再生医療の実現化プロジェクトの一部	文部科学省	(再掲) 3,650の内数	(再掲) 2,000の内数	細胞移植・細胞治療等によってこれまでの医療を根本的に変革する可能性を有する再生医療について、iPS細胞等を用いた革新的な幹細胞操作技術等を世界に先駆け確立し、その実用化を目指す。
	バイオリソース事業	文部科学省	(再掲) 794	(再掲) 459	バイオリソースの収集・品質管理・保存・提供を行っている。なかでも世界初のiPS細胞提供機関として、国内外の研究機関への分配事業を行っており、マウスiPS細胞は平成20年3月末からの分配開始以来、150件を上回る提供を行っている。
	戦略的イノベーション創出推進事業の一部(iPS細胞活用毒性評価技術)	文部科学省	2,800の内数	-	戦略的創造研究推進事業の成果のうち、産業創出の礎として戦略的に強化すべき技術について、産学官によるコンソーシアムを形成し、基礎研究から実用化まで長期一貫した研究開発を推進する。
	先端的基盤開発研究(再生医療実用化研究及び医療機器開発推進研究(ナノメディシン研究を除く))の一部	厚生労働省	(再掲) 3,162の内数	(再掲) 291	内視鏡手術などのロボット支援装置、小型埋め込み型の補助心臓装置及び低電圧・低ショック植え込み型除細動器(ICD)をはじめ、高次脳機能や微小血管等従来の診断法では測定し得なかった対象の診断装置の開発を行う。
	先端的基盤開発研究(創薬基盤推進研究)の一部	厚生労働省	5,186の内数	720	ゲノム情報を活用した生体機能の解明によりがんなどの生活習慣病や難病などを克服し、健康寿命を延伸することを目的に、肝毒性等の予測システムの運用開始を実現するためのトキシコゲノミクスデータベースの構築、健康等の研究開発に資する培養細胞、実験用小動物、及び日本人由来ヒト試料等の生物遺伝資源等の研究、開発、収集、増殖、保存、品質管理及び提供等を推進・強化を行う。
	食品医薬品等リスク分析研究(医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス総合研究)の一部	厚生労働省	670の内数	11	再生医療を中心とした医薬品・医療機器の評価手法等の確立研究強化の一環として、iPS細胞を利用した細胞・組織加工医薬品等の品質及び安全性の確保のあり方について検討を行う。
	(独)医薬基盤研究所運営費交付金の一部	厚生労働省	71	20	医薬品の安全性評価等のため、iPS細胞の作成に関する研究およびヒトiPS細胞コレクションの作製に関する研究を行う。
	幹細胞応用促進技術開発	経済産業省	(再掲) 1,000	-	iPS細胞を含めた各種幹細胞の産業応用を促進するため、安全かつ効率的なiPS細胞作製のための基盤技術の開発、細胞の選別・評価技術の開発、ES、iPS細胞を用いた創薬スクリーニング系の開発を行う。
小計			1,865	1,501	

感染症ワクチン開発技術(マ ラリア)	地球規模保健課題推進研究(仮称)の一部	厚生労働省	630の内数	-	感染症対策などにおける我が国の科学技術力を国際的にし、技術移転を図ることにより、我が国の国際的な存在感(プレゼンス)を高めるとともに、日本の先端的な科学技術を活用して、効率的にマラリアワクチンなどの開発をすすめる。
	小計		0	0	
非接触可視化・分析技術	テラヘルツ波技術に関する研究開発	総務省	580	232	適度な透過性と物質を同定できる性質を併せ持つテラヘルツ波により、X線や赤外線、電波など他の電磁波周波数帯では困難であった分子特有の吸収スペクトルを用いて分析等を行うことで、火災現場やセキュリティなど様々な状況でテラヘルツ波を活用するための基盤技術の確立を図る。 未踏領域の独創的な光源と利用に関する基盤技術を開拓し、光の幅広い波長域において、これまでにない光源を開発し、より微細な構造観測等を実施する。
	先端光科学研究	文部科学省	276	276	
	小計		856	508	
主要作物環境耐性・多収化 技術(小麦・大豆等)	植物科学研究事業	文部科学省	1,677	1,519	植物機能の向上を図り、メタボリックシステムの解明研究、環境・エネルギー研究、遺伝子組み換え植物の安全性評価のためのメタボローム解析研究を実施する。 国産バイオ燃料利用に向けた低コスト・高効率なバイオ燃料生産技術の開発、バイオマスの燃料利用とマテリアル利用を総合的に行うバイオマス利用モデルの構築等を重点的に行う。 エネルギー、食料、環境問題の解決に貢献する作物を創出するという目標に向けて、研究を推進するための材料となる基盤を整備するとともに、新たな遺伝子の機能解明を進め、遺伝子組換え技術やDNAマーカー育種技術を活用した作物開発を行
	地域活性化のためのバイオマス利用技術の開発の一部	農林水産省	1,450の内数	1,450の内数	
	新農業展開ゲノムプロジェクトの推進	農林水産省	3,985	3,985	
	小計		5,662	5,504	
広域回遊魚類完全養殖技 術(ウナギ・マグロ)	新たな農林水産政策を推進する実用技術開発事業の一部	農林水産省	10,379の内数	5,200の内数	農林水産業・食品産業の発展や地域の活性化などの農林水産政策の推進及び現場における課題の解決を図るため、実用化に向けた具象的な研究目標の明示や行政部局との連携強化による研究の進行管理体制の構築等により、着実な実用技術の創出を目指す。 天然からの採取に依存している養殖用のウナギの種苗について、安定的に供給可能な人工種苗生産技術を開発する。
	ウナギの種苗生産技術の開発	農林水産省	156	156	
	小計		156	156	
レアメタル代替材料・回収技 術	元素戦略	文部科学省	1,200	588	需給の逼迫による価格高騰リスクを抱える希少金属を豊富で安価な元素で代替する研究開発等を引き続き推進するとともに、「レアメタル代替材料・回収技術」を確立するため、レアメタルを効率的に回収する技術の研究開発を推進する。 近年飛躍的に向上した「コンピュータによる材料設計」、「ナノテクによる微細構造制御」など最先端技術を用いることで、希少金属元素の使用原単位を低減ができる製造技術を確立する。 革新的技術であるレアメタル回収技術について、資源生産性や有害物質対策の観点から、使用済み製品等、廃棄物からのレアメタル回収技術について、新たに「レアメタル回収技術特別枠」を設け、重点的に研究・技術開発を推進していく。
	希少金属代替材料開発プロジェクト	経済産業省	1,600	1,200	
	循環型社会形成推進科学研究費補助金(レアメタル回収技術特枠)	環境省	100	-	
	小計		2,900	1,788	

遺伝子組換え微生物利用生産技術(エネルギー・化学工業原料)	クリーン化学研究	文部科学省	350	-	触媒化学を基盤とし、新触媒の設計・構築や新反応による機能性材料の開発、セルロース系バイオマスの高効率変換システムなどの資源循環型技術の開発を一貫して推進し、持続的発展可能な社会の実現に貢献する物質変換技術の開拓を目指す。
	地域活性化のためのバイオマス利用技術の開発の一部	農林水産省	(再掲) 1,450の内数	(再掲) 1,450の内数	国産バイオ燃料利用に向けた低コスト・高効率なバイオ燃料生産技術の開発、バイオマスの燃料利用とマテリアル利用を総合的に行うバイオマス利用モデルの構築等を重点的に行う。
	微生物機能を活用した環境調和型製造基盤技術開発	経済産業省	1,105	1,105	微生物を活用した革新的な有用物質生産プロセス(モノ作り)の開発や、バイオマスを原料として有用物質を体系的かつ効率的に生産する技術(バイオリファイナリー)や生物反応の一層の効率化のための基盤技術の開発を行う。
	小計		1,455	1,105	
新触媒化学製造プロセス技術(水中機能触媒)	クリーン化学研究	文部科学省	(再掲) 350	-	触媒化学を基盤とし、新触媒の設計・構築や新反応による機能性材料の開発、セルロース系バイオマスの高効率変換システムなどの資源循環型技術の開発を一貫して推進し、持続的発展可能な社会の実現に貢献する物質変換技術の開拓を目指す。
	グリーン・サステナブルケミカルプロセス基盤技術開発	経済産業省	600	600	資源・エネルギーの高効率利用と大幅な生産向上を可能とする革新的なプロセス、加工技術の開発を行う。
	小計		950	600	
新超伝導材料技術(磁性元素超伝導体等)	戦略的イノベーション創出推進事業の一部(新超伝導材料技術)	文部科学省	(再掲) 2,800の内数	-	戦略的創造研究推進事業の成果のうち、産業創出の礎として戦略的に強化すべき技術について、産学官によるコンソーシアムを形成し、基礎研究から実用化まで長期一貫した研究開発を推進する。
	小計		0	0	
23技術概算要求額 総計			51,461	42,190	(再掲は計上していない。)

※公募による事業等で革新的技術関連の予算額が確定しないものについては事業総額の内数と標記し、計上金額に含めていない。